

平成17年3月期 決算説明資料



平成17年5月25日
 **常磐開発株式会社**

当社グループの経営戦略・中期経営計画

経営戦略

「変化する時代・社会にあって、常に顧客から選択してもらえる企業を目指し、安定した収益基盤を築くことにより、社会(顧客)、株主、社員の期待に応える」

中期経営計画(平成15年度から平成17年度まで)

1. 売上・収益の堅持のため、建設事業と環境事業の構成比を改善する
2. 請負業からの体質改善を目指し、顧客指向を掘り下げるにより
『サービス』技術の蓄積・育成を図る
3. 関連企業を含む個別技術を総合的に発揮できる体質をつくりあげる
4. 常に業務の合理性を追求し、前向きの姿勢で体質改善を図る
5. 企業倫理、遵法意識を高く持ち、あらゆる判断のガイドラインにする

以上により、更に開かれた経営を目指し、良き社風・ブランドをつくりあげる

平成17年3月期の総括

当期の業績

「ここ数期の受注高の減少傾向に歯止めをかけ、反転、その増大を成し遂げることを最大の課題」と捉え、中期経営計画2年目を「当社グループの存続と繁栄を確かなものとするため、中計の課題はもとより足元の基本的事項もあろそかにすることなく、質の強化をとおして結果目標・数値目標」の達成を目指して参りました。

この結果

受注高：建築工事の受注増加により、130億41百万円(前年同期比39.8%増)

売上高：受注は増加したものの繰越工事への影響もあり、106億91百万円(同10.7%減)

繰越高：上記により、45億52百万円(同106.7%増)

利益につきましては、

営業利益：厳しい受注競争での利益幅の薄い工事受注により、61百万円(同82.9%減)

経常利益：上記により、72百万円(同76.1%減)

当期純利益：土地売却益を含む特別損益の影響により、83百万円(同64.6%減)

平成17年3月期 連結損益計算書

(単位:百万円)

	当期	前期	増減 (率)	
売上高	10,691	9,656	1,034	(10.7%)
完成工事高	8,786	7,843	943	(12.0%)
環境事業売上高	1,201	1,186	15	(1.2%)
その他売上高	702	626	76	(12.1%)
売上総利益	1,265	1,311	46	(3.5%)
完成工事総利益	927	998	71	(7.1%)
環境事業売上総利益	216	217	1	(0.6%)
その他売上総利益	121	95	26	(27.8%)
販売費及び一般管理費	1,204	954	250	(26.2%)
営業利益	61	357	296	(82.9%)
営業外損益	11	51	63	(- %)
経常利益	72	305	232	(76.1%)
特別損益	36	46	83	(- %)
当期純利益	83	237	153	(64.6%)

平成17年3月期 売上高(連結)セグメント別内訳

(単位:百万円)

	当期(売上高全体比)	前期(売上高全体比)	増減(率)
建設事業	8,786 (82.2%)	7,843 (81.2%)	943 (12.0%)
建築	4,808 (54.7%)	4,441 (56.6%)	366 (8.3%)
土木	3,978 (45.3%)	3,402 (43.4%)	576 (16.9%)
環境事業	1,201 (11.2%)	1,186 (12.3%)	15 (1.3%)
不動産事業	42 (0.4%)	73 (0.8%)	30 (-41.7%)
その他事業	660 (6.2%)	553 (5.7%)	106 (19.3%)
売上高合計	10,691 (100%)	9,656 (100%)	1,034 (10.7%)

建設事業内訳の建築・土木の比率は建設事業全体比

平成17年3月期 損益計算書(単体)

(単位:百万円)

	当期	前期	増減(率)	
売上高	8,014	8,116	101	(1.3%)
完成工事高	6,752	6,821	68	(1.0%)
環境事業売上高	1,208	1,192	16	(1.4%)
その他売上高	52	102	49	(48.4%)
売上総利益	794	928	133	(14.4%)
完成工事総利益	568	700	132	(18.9%)
環境事業売上総利益	218	223	5	(2.3%)
その他売上総利益	7	3	3	(106.4%)
販売費及び一般管理費	733	717	15	(2.1%)
営業利益	61	210	148	(70.6%)
営業外損益	27	50	22	(- %)
経常利益	34	160	125	(78.4%)
特別損益	38	20	59	(- %)
当期純利益	66	133	67	(50.5%)

平成17年3月期 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当期	前期	増減(率)
流動資産	7,524	6,739	784 (11.6%)
固定資産	3,473	3,283	190 (5.8%)
総資産	10,998	10,023	974 (9.7%)
流動負債	7,219	6,662	557 (8.4%)
固定負債	1,221	1,083	137 (12.7%)
負債計	8,441	7,746	695 (8.9%)
少数株主持分	-	-	- (- %)
資本合計	2,556	2,277	279 (12.2%)

平成 17 年 3 月期 貸借対照表（単体）

(単位:百万円)

	当期	前期	増減(率)
流動資産	6,614	5,763	850 (14.7%)
固定資産	3,055	2,974	80 (2.7%)
総資産	9,669	8,738	931 (10.6%)
流動負債	6,582	6,009	572 (9.5%)
固定負債	921	716	205 (28.7%)
負債計	7,504	6,725	778 (11.5%)
資本合計	2,165	2,012	152 (7.6%)

平成17年3月期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当期	前期	増減(率)
営業キャッシュ・フロー	729	336	392 (116.7%)
投資キャッシュ・フロー	214	101	112 (111.8%)
財務キャッシュ・フロー	443	332	110 (- %)
現金及び現金同等物 の当期末残高	1,527	1,027	499 (48.6%)

平成17年3月期 連結受注高及び連結繰越高

(単位:百万円)

	当期	前期	増減(率)	
受注高	13,041	9,330	3,710	(39.8%)
建設事業	10,868	7,517	3,351	(44.6%)
環境事業	1,469	1,186	283	(23.9%)
不動産事業	42	73	30	(41.7%)
その他事業	660	553	106	(19.3%)
繰越高	4,552	2,202	2,349	(106.7%)
建設事業	4,284	2,202	2,081	(94.5%)
環境事業	268	-	268	(- %)
不動産事業	-	-	-	(- %)
その他事業	-	-	-	(- %)

受注高の建設事業内訳:建築6,786百万円、土木4,082百万円

繰越高の建設事業内訳:建築2,863百万円、土木1,420百万円

平成18年3月期の見通し

見通し

当社グループを取り巻く経営環境におきましては、企業業績を背景とした民間設備投資に期待が持たれます。引き続き公共建設投資の減少が予測されることから、全体的に供給過剰状態の中で淘汰の波は続き、一層厳しい受注環境を覚悟せざるを得ないと思われます。

当社グループの取り組みと対処すべき課題

- ・引き続き受注の増大に努力をすることと併せて収益力の強化と利益の創出のために一丸となって取り組む
- ・中期経営計画の基本的考え方をしっかりと堅持して、B(ビフォア-)・P(プロセス)・A(アフター)のそれぞれの段階において利益確保を追求する
- ・グループワイドでビジネスチャンスをものにすべく、持てる力を総結集する取り組みのいっそうの具体化を推し進める

以上の見通し及び取り組みを踏まえ

平成18年3月期 連結業績予想

(単位:百万円)

	平成18年3月期	平成17年3月期	増減(率)	
売上高	11,000	10,691	308	(2.9%)
営業利益	180	61	118	(195.1%)
経常利益	192	72	119	(163.6%)
当期純利益	100	83	16	(19.2%)

平成18年3月期 単体業績予想

(単位:百万円)

	平成18年3月期	平成17年3月期	増減(率)	
売上高	9,000	8,014	985	(12.3%)
営業利益	135	61	73	(118.2%)
経常利益	100	34	65	(188.2%)
当期純利益	50	66	16	(24.5%)
1株当たりの配当金	5円	5円	0円	(0%)

業績の見通しについては、現段階の入手可能な情報による判断及び仮定に基づいて算定しておりますが、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況の変化等により、実際の業績の予想数値と異なる場合がありますことをご了承願います。

21世紀が求める環境の整備・浄化・保全の
機能を兼ね備えた総合建設業をめざす



福島県いわき市常磐湯本町辰ノ口1
TEL: 0246-72-1111 (代表)
<http://www.jobankaihatsu.co.jp>